健康一口メモ

柿崎小児科医院　医師
柿崎 周平（Syuhei Kakizaki）

■川崎病について

川崎病はこどもに発病するいまだ原因不明の病気です。この病気は約50年前に小児科医である川崎富作先生により世界で初めて報告されました。全身の血管に炎症を引き起こし、無治療のまま放置した場合は約25％に心臓の血管へ後遺症（冠動脈瘤）を残します。

川崎病の症状は、はじめは発熱から始まるため風邪に伴う発熱と区別することは困難です。次第に発疹や目の充血、口の中が赤くなるなど特徴的な症状をきたします。原因が不明であるため診断に有効な検査方法はなく、これらの症状から診断されます。現在の標準的な治療は血液製剤である免疫グロブリンの点滴が使用されます。近年、ステロイドを併用する治療の有効性が注目されています。後遺症を残さずに治療を終えた場合はその後の日常生活に支障はきたしません。しかしながら冠動脈瘤を形成した場合は定期的な検査や永続的な治療が行われます。

川崎病は出生数の減少にも関わらず発病者は年々増加しており、国内で年間1万人を超えています。病気の原因や発病するメカニズムなども不明なため、特効薬の開発や予防法も確立できていない状況です。現在も世界中で川崎病の研究が行われており、病因の解明が期待されています。

こちら診療所

所長　宮﨑 武文

■コレステロールと中性脂肪について

体の中には様々な種類の油分が存在しています。健診などでよく検査されるLDLコレステロールやHDLコレステロール、中性脂肪は血液中の脂肪分の多くを占める油分です。これは体のエネルギーの元となったり、体の細胞を形作ったりと体にとって必要なものです。しかし血液中にLDLや中性脂肪が増え過ぎると動脈硬化が進んだり血栓ができやすくなり脳卒中や心筋梗塞、狭心症などの原因になったりします。このためLDLは悪玉コレステロールとも言われています。HDLは血液中の余分なコレステロールを肝臓に戻す働きをすることから高いと逆に動脈硬化になりにくくなるため善玉コレステロールと言われています。いずれも食事を中心とした生活習慣が密接な関わりをもっており、LDLや中性脂肪が高いと場合によっては薬による治療も必要となります。LDLや中性脂肪の数値が異常でも基本的に無症状のため病気になってからでは動脈硬化がかなり進行していることも少なくありません。健診でこれらの異常が指摘されている方はぜひ医療機関を受診したり保健指導を受けるようにしましょう。

【整形外科外来のお知らせ】
10月は11日（金）と25日（金）です。

【休診のお知らせ】
毎週火曜日の午後は研修のため休診とさせていただきます。
都合により10月4日（金）の午後は休診となります。

街道リレー253

「私の果物づくり」

滑塚　小島 信夫さん

私がブドウを植えたのは、昭和二十九年のことでした。当時は、畑作の換金作物は少なく、水田面積も小さく養蚕を主とし、耕耘機すら無い時代でした。三十一年に、同志六名と桃を主とした果樹研究会をつくり、普及所の指導を受けて果物づくりが始まりました。

どうしても良いブドウがつくれず、ブドウづくりはやめようと思った時、高畠の友人に雨よけを設置し努力してみてはどうかと薦められました。その薦めのおかげで、ブドウの木を切ってしまわずに済みました。

良い果物をつくるには先進地の指導を受けた方が早いと思い、高畠や福島に年数回出かけ、指導を受けたこともありました。これまで、果物をつくってこられたのも良き友に出逢ったお陰だと感謝しています。

最近はスモモに凝っており、上山の農家と交流しています。果物づくりも六十年近くなりますが、その間台風の被害を受けたのは一夜だけでした。しかし近年は猿害に苦労しています。猿害が無ければ、農業もやりやすいと思います。皆さんで猿のいないふるさとづくりに努力しようではありませんか。

努力に限界はないのだから。

次回は松川久一さん（湯原）にリレーされます。

けんこう広場

保健センター通信　☎37-2331

健診は受診した後が大切です！

住民総合健診を受診された方は、結果が9月中旬頃届いたことと思います。健診は受けた後が大切で、必要な生活習慣の改善や、医療機関を受診して重症化を予防しましょう。

なお、町の健診を受診していない方に対しても相談等随時受け付けておりますので、ご心配な点などありましたら、お気軽にご連絡ください。

65歳以上のみなさんへ 健診結果票の裏面もご覧ください

特定健診結果の裏面には、介護予防に必要な生活機能の結果が記載されています。「介護予防教室への参加が望ましい」と判定された方には、後日教室等のご案内をさせていただきます。また、「問題ない」と書かれている方々にも、町だよりなどで、参加できる教室等のご案内をさせていただきます。ご活用ください。

お知らせ

■母子手帳の交付

・母子手帳を交付する際は、一緒に妊婦健康診査を助成するための受診票などをお渡しするほか、妊娠期の過ごし方や各種教室の紹介などを行います。
・来所された方をお待たせしないよう、事前に書類を準備いたします。あらかじめ電話連絡のご協力をお願いします。

■健康相談

お子さんからお年寄りまでの健康相談、栄養相談に保健師、栄養士が対応いたします。

●申込み　事前に予約が必要です。保健センターまでご連絡ください。

■こころの相談

専門医によるカウンセリング等を行っています。本格的な精神疾患から、ちょっとしたストレスまで幅広く対応しています。

●実施日　10月4日（金）
●申込み　事前に予約が必要です。保健センターまでご連絡ください。

■運動教室「げんき塾」

●日　時　10月18日（金）午後1時30分より
●集　合　保健センター
●内　容　ノルディックウオーキング
●その他　予約は不要です。各自飲み物や帽子を準備ください。

■エイズ・クラミジア相談

●日　時　月～金曜日（祝祭日を除く）午前8時30分～午後5時
●電　話　0224（53）3121
仙南保健所疾病対策班

●HIV抗体検査・クラミジア抗体検査

原則無料で検査を受けることができます。ただし、事前の問診によって感染の可能性が否定できる方は有料となります。

検査は匿名で受けられます。プライバシーは固く守ります。

※事前に予約が必要です。

●予　約　0224－53－3132
仙南保健所疾病対策班
●場　所　宮城県仙南保健所
●検査日　毎月第2・第4火曜日
午後1時～午後4時

●宮城県立視覚支援学校「学校公開」のご案内

視覚支援学校の教育内容を一般の方にもご理解いただくために毎年実施しています。興味のある方、目が見えにくくて悩んでいる方や関係する方々等どなたでも参加いただけます。

●期　日　10月17日（木）
午前10時～午後3時
●内　容　公開授業、視覚補助具や展示等の紹介、全盲・弱視体験
●場　所　宮城県立視覚支援学校
教育支援相談部（担当・千田）
●電　話　022－234－6333